

事務事業評価シート

事務事業コード	001000	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種類	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合	85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	放課後子ども教室推進事業費(学校教育課)		予算事業コード	01-09-04-02-17-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態 にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携
事業費	年度別実績	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・久松小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小・久松小)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	13,452	13,554	14,060	0	0
	直接経費 A	6,233	6,235	6,817	0	0
	国・県	4,470	4,089	2,101	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,763	2,146	4,716	0	0
	人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]放課後子ども教室設置数	箇所	目標	3
			実績	4	4	5	0	0
	(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数(基準値は平成26年度時点)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算（掲載なし）</p> <p>【事業の概要】 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。</p> <p>【事業の成果】（対象）小学生 （児童数）平成28年度 神戸25人、明治26人、東郷26人、米里43人 平成29年度 神戸25人、明治28人、東郷28人、米里49人 平成30年度 神戸20人、明治34人、東郷25人、米里37人、久松47人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市では、放課後児童クラブと共に放課後児童対策事業として実施しており、小規模校を中心に開設してきた経過がある。小規模校転入制度を活用して転入されている児童（東郷・明治）には開設時間の配慮が必要であり、補助対象外予算を計上しなければならない。また、平成30年度には新たに久松小学校で事業が開始され、放課後児童クラブと連携した子ども教室の開設が進んだ。事業実施地域の評価・ニーズとも高く、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい小学校区において、必要性があれば実施していくことに加え、児童クラブと連携する子ども教室の開設を検討していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]放課後子ども教室設置数	133%	80%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値^①放

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>現在開設している校区で継続して開設すると共に、放課後児童対策事業が未実施の校区で、必要性や地域性を考慮し開設を検討する。また、放課後児童クラブと連携した子ども教室の開設要望があれば検討する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域教育力向上モデル事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度～平成30年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	地域教育力向上モデル事業費			予算事業コード	01-09-04-02-19-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態にするために)	放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携した総合的な放課後における健全育成を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携する	①モデル事業の継続	①モデル事業の継続			
	年度別実績	①米里小学校で実施	①米里小学校で実施	①米里小学校で実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,989	7,374	7,283	0	0	
	直接経費 A	770	55	40	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	770	55	40	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	子ども教室入級児童数	人	目標	46	48	45	0	0	
				実績	46	49	37	0	0	
	(指標の説明) 子ども教室入級児童数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算（掲載なし）</p> <p>【事業の概要】 地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携した総合的な放課後における健全育成を推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度：771千円（平成28年10月より米里小学校で実施） 平成29年度：55千円 平成30年度：40千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 学校運営委員会で開設要望のあった米里小学校で試験的に実施することとし、平成28年度～平成30年度までのモデル事業とする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	子ども教室入級児童数	100%	102%	82%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>学校運営委員会で開設要望のあった米里小学校で試験的に実施することとし、平成28年度～平成30年度までのモデル事業とする。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ～ 全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合	85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費		予算事業コード	01-09-01-03-84-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態 にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動
年度別実績		①市内25校が実施	①市内24校が実施	①市内13校が実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,961	19,222	15,403	0	0	
	直接経費 A	12,742	11,903	8,160	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	2,917	1,943	0	0
		地方債	12,700	8,900	6,200	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	42	86	17	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	25
			実績	25	24	13	0	0
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P244(教024)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施する。</p> <p>【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日(5年生)の体験活動を行う(4年生は1泊2日)。 農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など 平成28年度：小学校25校 平成29年度：小学校24校 平成30年度：小学校13校</p> <p>【今後の課題・方向性】 新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施していくことが大切である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	農山村生活体験活動の実施校数	100%	80%	87%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	市バスの廃止により、バス代補助がどのようになるか決定されない中で、希望校が減少したと思われる。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>新市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、本事業は継続していく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度～平成31年度	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成					
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営	
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業費	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-98-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校、中学校、義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	学校と地域が協働しながら、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活の支援を行う。
手段 (どうするのか)	小・中・義務教育学校に配置されたコーディネーターが活動をコーディネートし、地域のボランティアが児童生徒の生活・学習支援や学校の環境整備・安全パトロールなどの活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	①ボランティアによる学校支援 ②コーディネーターの配置	①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート
事業費	年度別実績	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	15,769	12,629	10,888	0	0
	直接経費 A	8,550	5,310	3,645	0	0
	国・県	8,550	5,310	3,645	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	実施小・中学校数	校	目標	48
			実績	48	29	20	0	0
	(指標の説明) 実施小・中学校数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算（掲載なし）</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ボランティアによる学校支援 学習・生活支援ボランティア（小学校1～3年生） 授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備 等 コーディネーターの配置 ボランティアのコーディネート、連絡調整、研修会参加 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域と学校の協働による、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活が行われるようになった。 コーディネーターの配置により、地域が学校に主体的にかかわるようになり、スムーズにボランティア活動が行われるようになった。 <p>【事業費実績額】</p> <p>平成28年度 8,550千円 平成29年度 5,310千円 平成30年度 3,645千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細かな対応や、安心・安全な学校生活を実現し、学校への大きな支援につながっている。その活動を長年ボランティアコーディネーターが支えてきた。本市でもコミュニティ・スクールの設置が進み、コーディネーターとしての役割はますます重要となりつつも、同じような役割を持つ仕組みも導入されつつあり、役割を整理しつつ仕組み作りも検討しながら推進していく必要があると考える。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	実施小・中学校数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細かな対応や、安心・安全な学校生活を実現し、学校への大きな支援につながっている。)その活動を長年ボランティアコーディネーターが支えてきた。本市でもコミュニティ・スクールの設置が進み、コーディネーターとしての役割はますます重要となりつつも、同じような役割を持つ仕組みも導入されつつあり、役割を整理しつつ仕組み作りも検討しながら推進していく必要があると考える。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	001400	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	市立小・中・義務教育学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	
年度別計画	年度別計画						
	年度別実績	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	26,350	24,839	25,576	0	0	
	直接経費 A	19,131	17,520	18,333	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19,131	17,520	18,333	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	実施学校数	校	目標	62	62	58	58	56
			実績	62	62	58	0	0
(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小・中・義務教育学校数								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P240(教015)</p> <p>【事業の概要】 本事業は、従来より継続してきた「特色ある学校づくり推進事業」をベースとしながら、学校が提出する実施計画書の内容に応じて予算配分する方法を導入した事業であり、平成16年度より実施してきた。 現在地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。この事業は、そのような学校経営を後押しするために、学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して、各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で、必要な予算を措置する。</p> <p>【事業の成果】 一律支援予算による事業 児童・生徒数に応じて配分する予算で、従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、自主的に学校が運営できる予算として配分する。 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して評価・査定を行った上で予算配分する。 人材活用支援予算による事業 学校教育活動への地域の人材の活用や、広く社会で活躍する先輩を招聘しての事業について予算配分する。</p> <p>【事業費実績額】 平成28年度 19,131千円 平成29年度 17,520千円 平成30年度 18,333千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。地域からも評価が大変高い事業であり、今後は、事業内容の見直しと改善を図りつつ充実させていく方針である。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	実施学校数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>それぞれの小・中・義務教育学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業といえる。委託事業として今後も継続して実施したい。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	001500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標		事業期間	全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合	85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	学力向上推進事業費		予算事業コード	01-09-01-03-52-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校児童生徒
意図 (どのような状態 にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業
年度別実績		①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	17,114	17,133	11,413	0	0
	直接経費 A	9,895	9,814	4,170	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	9,895	9,814	4,170	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100	3100	2900	2900	2800
				実績	2628	2800	2462	0
(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明) 学力向上推進事業の委託数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明) 参加する児童生徒数								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P242(教020)</p> <p>【事業の概要】 本市は全国学力・学習状況調査で良好な状況を維持しているが、個々の児童・生徒の学力の分布状況や課題を分析する中で、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒もある。地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」により、「家庭や地域との連携」を図りながら学力向上に努めている。</p> <p>【事業の成果】 地域人材を活用して実施しており、学校と地域の協働が進んだ。 特に、長期休業などで基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならず、多くの児童・生徒の学力向上や学習習慣の定着に効果が見られた。 〔事業費実績額〕 平成28年度 9,895千円 平成29年度 9,814千円 平成30年度 5,640千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域人材の確保が難しい地域もある。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、地域の声を反映させるとともに、地域人材を積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	85%	90%	85%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>実施回数は2,462回で、3,100回の目標に対して、実施率79.4%と80%をわずかに下回った。実施校は、全小・中・義務教育学校であって、すべての学校で活用された事業であった。今後は、どの学校も全50回を活用できるようにしていきたい。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成26年度から全小中学校で実施することとし、支援者も対象児童生徒数も増加している。今後もすべての児童生徒を対象とした学力向上策として継続していきたい。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	001600	重点施策	ひとつづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	未来のとっとり教育創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとつづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	未来のとっとり教育創造事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	3 指定中学校 2 指定中学校 2 指定中学校区
意図 (どのような状態にするために)	地域創造学校（鳥取市版コミュニティ・スクール）、ICTの活用、魅力ある授業づくりによる学校不適應の解消を推進するために
手段 (どうするのか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施
事業費	年度別実績	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施			
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,590	9,442	8,337	0	0	
	直接経費 A	2,371	2,123	1,094	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	628	200	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,371	1,495	894	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	校	目標	6
			実績	8	8	10	0	0
	(指標の説明) ≪H30にKPI見直し≫ コミュニティ・スクール導入校の数							
2	学校運営協議会の実施回数	回	目標	9	20	30	174	168
			実績	18	45	60	0	0
	(指標の説明) 地域創造学校の運営協議会の実施回数							
3	研究授業の実施回数	回	目標	4	4	5	5	5
			実績	5	5	5	0	0
	(指標の説明) ICTの活用、英語教育の研究授業の実施回数							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P241(教017)</p> <p>【事業の概要】 次の3つの研究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的に実践し、各校へ広める。</p> <p>研究課題 保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり</p> <p>研究課題 地域との協働による豊かな学びの創出</p> <p>研究課題 学びや学校生活を支える土台づくり</p> <p>【事業の成果】 保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。また、ICTを活用した授業が他教科に広がったり、プログラミング教育に関する関心が高まったりしている。また、魅力ある授業づくりによる学校不適應の解消を推進するなど、先行実施の取り組みを行っている。</p> <p>【事業費実績額】 平成28年度 2,371千円 平成29年度 2,123千円 平成30年度 1,094千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 パイロット校を指定して、先駆的に取り組む本事業の内容については、適切に選択しながら充実を図っていききたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	(KPI)地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	133%	133%	167%		
	2	学校運営協議会の実施回数	200%	225%	200%		
	3	研究授業の実施回数	125%	125%	100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業は、社会の変化に応じた教育を推進するための事業であり、時代の要請に応じてテーマを変えて、さらなる研究の拡充を図っていく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	001700	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特色ある中学校区創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	外部委託
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特色ある中学校区創造事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-07

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全中学校区
意図 (どのような状態にするために)	中学校区の特色ある取り組みを推進するために
手段 (どうするのか)	学校・保護者・地域で構成された推進委員会に委託

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施
年度別実績	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	11,219	10,949	10,803	0	0
	直接経費 A	4,000	3,630	3,560	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,000	755	3,560	0	0
一般財源	0	2,875	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	%	目標	90
			実績	90	91	89	0	0
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/小5~6:90%)							
2	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	%	目標	85	85	85	90	90
			実績	88	88	87	0	0
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/中1~3:85%)							
3	中学校区教育フォーラムの開催回数	校区	目標	17	17	17	17	17
			実績	17	17	17	0	0
	(指標の説明) 中学校区で開催する教育フォーラムの回数							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P240(教016)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>本市では、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、学力の向上や学校不適應の解消をめざす「小中一貫教育」を推進してきている。平成23年度からの3年間で、全中学校区が「めざす子ども像」を設定し推進体制を整えるとともに、合同研修会や児童生徒交流の実施、地域への情報発信等を行い、小・中学校のつながりを強めてきた。今後はその成果を踏まえ、中学校区が一体となって、より特色ある取組を総合的に推進することが大切である。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>各中学校区が、地域や児童生徒の実態を踏まえ、特色ある取組を総合的に進め、「めざす子ども像」の実現を図るとともに、地域全体の教育力の向上につなげた。</p> <p>幼保・小・中学校の一貫した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高め確かな学力を身につける授業改善 ・学校不適應の未然防止につながる魅力ある学校づくり 等 <p>家庭・地域との連携による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣や学習習慣の育成のための啓発活動 ・モラルやマナー・ルールを大切に作る風土(人)づくり 等 <p>地域の特色を生かした取組 ・地域の自然や文化、人材を生かした教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域フォーラム、小中合同発表会等の開催 等 <p>平成28年度：4,000千円 平成29年度：3,630千円 平成30年度：3,560千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>今後も各中学校区の特色ある取り組みを維持していきたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	100%	101%	99%		
	2	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	104%	104%	102%		
	3	中学校区教育フォーラムの開催回数	100%	100%	100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>課題が複雑化する昨今の状況を踏まえると、学校と地域の協力、幼・小・中の連携は今後一層重要になる。本市の重点施策でもあり、いっそうの拡充を考えている。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他	
	85%	90%	運営方法	その他	
	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-26-01	
予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費				

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態 にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動
	年度別実績	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	9,142	9,311	9,210	0	0
	直接経費 A	1,923	1,992	1,967	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,923	1,992	1,967	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	80	80	80	80	80
		実績		93.5	95.1	95.3	0	0	
	(指標の説明) 体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率								
2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-30-8413</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P239(教014)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とした体験活動を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>中学校2年生の社会体験活動は、合併前からほとんどの市町村で取り組まれていた事業であり、合併後も中学校全17校で実施している。</p> <p>【事業費実績額】</p> <p>平成28年度：1,923千円 平成29年度：1,992千円 平成30年度：1,967千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>教育基本法や学校教育法の改正等では、「生きる力」を身に付け、しっかりとした勤労観・職業観を形成・確立する必要性が示されており、様々な社会体験活動を行うことで地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を育成する。また、地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることにより、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の育成や、大人全体で担う新たな教育システムの創造(ゲストティーチャー、出前講座、企業や各種団体での受け入れなど学校の教職員以外の者が児童生徒の育成に携わること)につなげていく。</p> <p>体験活動日数については学校裁量として、今後も事業を継続していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	117%	119%	119%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>この事業は、中学校でのキャリア教育の充実や「ふるさとを思い志をもつ子」の育成を目的とし、成果を上げ続けている。今後も継続して実施する必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001900	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市グローバル人材育成事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	85%	90%	運営方法	直営	
	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-18-04	
予算	予算事業名 鳥取市グローバル人材育成事業費				

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	次代を担う本市在住の中学生
意図 (どのような状態 にするために)	多様な文化・歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際的感覚の優れた人材の育成
手段 (どうするのか)	英語圏域であるシンガポールに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問プログラムを実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別実績	①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①英語圏に本市在住中学生を20名派遣	①英語圏に本市在住中学生を20名派遣
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	13,829	11,468	11,702	0	0
	直接経費 A	9,498	7,077	7,356	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,014	6,968	7,356	0	0
一般財源	1,484	109	0	0	0	
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	【KPI】実施中学校数	校	目標	3	3	0	0	0
				実績	15	13	0	0
(指標の説明) グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置								
2	【KPI】中学生派遣人数	人	目標	10	20	20	20	20
				実績	20	20	20	0
(指標の説明) 中学生の海外派遣								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 校区審議室 0857-30-8405</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P233(教002)</p> <p>【事業の概要】 英語圏域であるシンガポールに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間(5日間程度)研修を行う。</p> <p>【事業の成果】 70名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣。帰国後、報告会を実施し、報告書を作成した。また、各中学校での報告会も行い、事業の成果を周知することができた。</p> <p>(事業の実績) 平成28年度：9,498千円 平成29年度：7,078千円 平成30年度：7,357千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 より実効性を高める研修とするため、派遣先の検討、派遣中の研修プログラムを工夫することや、事前・事後研修の充実を図ることが必要であると考える。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 その他財源の諸収入は、鳥取市グローバル人材育成事業参加負担金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]実施中学校数	500%	433%			
	2	[KPI]中学生派遣人数	200%	100%	100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	予定していた時期に開催することができたため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	予定していた人数の中学生を、選抜の上、派遣することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業に参加した中学生は、派遣を通して、言葉・文化・民族が異なってもお互いを尊重しあうことの素晴らしさを学ぶとともに、自国の伝統や文化を尊重することの大切さを学んだ。また、研修の成果を報告し、各校の生徒に学びを伝えることができた。引き続き、これからの鳥取を担う子どもたちの成長にとって、さらに実効性の高いものとするために、工夫した取り組みにしていきたいと考える。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	大規模改造事業(小学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	大規模改造事業費(小学校)			予算事業コード	01-09-02-03-46-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態にするために)	施設老朽化対策を実施し、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。
手段 (どうするのか)	外壁・トイレ等、各所の劣化施設の改修工事

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	①福部未来学園特別教室棟改修工事	①久松小学校校舎改修工事	①福部未来学園校庭等整備工事
年度別実績	①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	①福部未来学園特別教室棟改修工事				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	17,920	13,415	166,357	0	0	
	直接経費 A	13,589	9,024	162,011	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	9,031	0	0
		地方債	12,900	8,500	114,400	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	689	524	38,580	0	0	
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	改修工事実施箇所数	施設	目標 実績	1 1
2	(指標の説明)		目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)		目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
3	(指標の説明)		目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)		目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P235(教005)</p> <p>【事業の概要】 新たに義務教育学校として開校した福部未来学園に必要な校舎等の整備を行う。</p> <p>【事業の成果】 幼小中一貫校としての必要な教育環境の確保が図れた。 (事業の実績) 平成29年度 校舎等改修実施設計 8,424千円 平成30年度 特別教室棟改修工事 151,797千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 校舎等の改修工事は完了。今後は校庭・中庭等の外構工事の着手に向け準備を進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	改修工事実施箇所数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため予防保全的な施設改修は不可欠であるとする。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標		事業期間	全期
	01	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等	
1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理	
	85%	90%	運営方法	直営	
	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-12-01	
予算	予算事業名	不登校対策事業費			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校、及びその児童・生徒
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市立小・中学校の児童生徒における学校不適應傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするか)	鳥取市学校不適應対策専門委員会での不適應対策について総括的に討議し、学校不適應の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適應対策、児童生徒支援を行っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①学校不適應対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適應対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適應対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適應対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適應対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適應対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適應対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適應対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適應対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適應対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導
年度別実績	①学校不適應対策専門委員会を年3回開催し、市の不適應対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適應対策委員会を実施し、不適應の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適應対策専門委員会を年3回開催し、市の不適應対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適應対策委員会を実施し、不適應の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適應対策専門委員会を年3回開催し、市の不適應対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適應対策委員会を実施し、不適應の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適應対策専門委員会を年3回開催し、市の不適應対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適應対策委員会を実施し、不適應の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適應対策専門委員会を年3回開催し、市の不適應対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適應対策委員会を実施し、不適應の解消や教職員の力量の向上を図った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	7,674	7,753	7,798	0	0
	直接経費 A	455	434	555	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	その他	0	0	0	0	0
一般財源	455	434	555	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	学校不適應対策専門委員会の実施回数	回	目標	3
			実績	3	3	3	0	0
	(指標の説明) 学校不適應対策専門委員会の実施回数							
2	スーパーバイザーによる助言指導回数	回	目標	17	17	17	17	17
			実績	22	20	19	0	0
	(指標の説明) スーパーバイザーが、学校・中学校区へ助言指導した回数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-30-8413 【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P237(教010)</p> <p>【事業の概要】 学校不適應の専門家や地域協力員の活用により、学校不適應の解消に向けた取り組みを行う。 学校不適應対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 学校不適應対策専門委員会の委員を各学校に派遣し、助言や支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 学校不適應対策専門委員会(委員7名)の開催 地域協力員(委員60名)の会の開催 スーパーバイザーによる各校への指導助言の実施</p> <p>〔事業費実績額〕 平成28年度：455千円 平成29年度：434千円 平成30年度：555千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の背景も年々複雑になり、不登校児童生徒の出現率は依然高い状況にある。今後不適應対策委員による方針のもとに、各小・中・義務教育学校や中学校区において、未然防止と早期対応を進めるとともに、各専門機関との連携を強化し不登校の解消に当たっていく。また、個別の事案に対して専門家を交えた支援会議を行うなどスーパーバイザー等の一層の活用を図り、不登校の改善をめざしていく。本市教育の重要課題である学校不適應の解消のためにも本事業の継続が必要であると考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	学校不適應対策専門委員会の実施回数	100%	100%	100%		
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	129%	118%	112%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	スーパーバイザーによる助言指導が、学校不適應に係る諸問題解消の道筋作りに有効だと各校が理解し、実施回数が増えたため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>学校不適應の解消は、本市の重要課題でもあり、学校と地域、関係専門機関が連携して、学校不適應の解消に当たっている。今後、関係専門機関との早期連携、未然防止、早期対応のための情報共有の体制づくり等を充実・強化しながら、学校不適應対策をより進めていく必要性を感じている。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	002300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特別支援教育支援員配置事業費			予算事業コード	01-09-01-03-66-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	
	年度別実績	①支援員を配置 H28年度追加配置:6校、7人	①支援員を配置	①支援員を配置			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	145,535	198,835	222,879	0	0	
	直接経費 A	53,535	81,897	91,935	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	53,535	81,897	91,935	0	0	
人件費 B	92,000	116,938	130,944	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	46.00	59.00	64.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	支援員配置校数	校	目標	52	56	59	59	57
				実績	46	59	55	0	0
	(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校教育課 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P243(教022)</p> <p>【事業の概要】 発達障がいなど教育上の特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援するため、発達障がいなど教育上の特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>【事業の成果】 特別支援教育支援員を配置することによって、障がいのある児童生徒の個々の障がいの状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導を担当を補助しながら実施し、該当児童生徒はもとより、学級全体の精神的安定、授業や学級経営の円滑な運営を行うことができた。</p> <p>【事業費実績額】 平成28年度： 53,535千円 平成29年度： 81,897千円 平成30年度： 91,935千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 希望校への配置を基準とするのではなく、配置の必要性も十分調査・検討した上で、学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	支援員配置校数	88%	105%	93%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%~150%未満：上回る」、「80%~100%以下：目標どおり」、「50%~80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>学校からの配置の要望が高く、配置の効果も大きいため、数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題である。また、配置についても、配置の必要性を十分調査・検討した上で、学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置の充実が必要である。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	002400	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	公立環境大学運営費交付金事業		所属名	企画推進部	政策企画課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	地方独立行政法人法、公立大 学法人鳥取環境大学定款
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他	
	85%	90%	運営方法	その他	
	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-02-01-07-45-02	
予算	予算事業名	環境大学運営費交付金			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公立大学法人公立鳥取環境大学
意図 (どのような状態 にするために)	公立大学法人公立鳥取環境大学の持続可能な運営を行う。
手段 (どうするのか)	公立大学法人公立鳥取環境大学の毎年の運営費の一部を、鳥取県とともに負担する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①大学運営費交付金 512,689千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)	①大学運営費交付金 469,532千円 ②施設整備補助金 51,554千円	①大学運営費交付金 472,536千円 ②施設整備補助金 44,209千円	①大学運営費交付金 472,536千円 ②施設整備補助金 44,209千円	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金
年度別実績	①大学運営費交付金 512,399千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)	①大学運営費交付金 467,177千円 ②施設整備補助金 47,285千円	①大学運営費交付金 469,861千円 ②施設整備補助金 43,522千円				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	516,730	518,852	517,729	0	0	
	直接経費 A	512,399	514,461	513,383	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	61,612	47,285	43,522	0	0
一般財源	450,787	467,176	469,861	0	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	人	目標	216
			実績	258	390	523	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成24~26年度の平均。							
2	鳥取環境大学入学者数	人	目標	276	276	276	276	0
			実績	291	320	291	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P32(企008)</p> <p>【事業の概要】 新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等をチェックし、必要な指示等を行うとともに、地方交付税の範囲内で鳥取県とともに当該大学法人に対する大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立大学法人公立鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。</p> <p>【事業の成果】 大学運営費交付金を交付することにより、大学の安定運営を図った。 施設整備費補助金により、以下の施設整備を行った。 ・教育研究棟のガスヒートポンプエアコン更新工事及び屋上防水改修工事 ・学生センターと情報メディアセンターの屋上防水改修工事</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>運営費交付金</td> <td>施設整備補助金</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>446,895千円</td> <td>65,504千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>467,176千円</td> <td>47,285千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>469,861千円</td> <td>43,522千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 大学の安定的な運営の確保に必要な事業である。大学開設後18年が経過し、施設の大規模修繕の必要性が生じており、年次的に対応していく必要がある。その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。</p>		運営費交付金	施設整備補助金	平成28年度	446,895千円	65,504千円	平成29年度	467,176千円	47,285千円	平成30年度	469,861千円	43,522千円
		運営費交付金	施設整備補助金										
平成28年度	446,895千円	65,504千円											
平成29年度	467,176千円	47,285千円											
平成30年度	469,861千円	43,522千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	119%	120%	121%		
	2	鳥取環境大学入学者数	105%	116%	105%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>入学者における県内出身者が減少している中、大学と連携して県内就職者数を増加させる一層の努力が必要である。また、大学開設後18年が経過し、施設の大規模修繕の可能性が生じており、年次的に対応していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002500	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	看護学生就職支援事業		所属名	健康こども部 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成25年度 ~ 全期
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成			
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	85%	90%	運営方法	補助金交付
	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算事業名	看護職員実習指導者養成支援事業費		予算事業コード	01-04-01-01-27-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域医療機関等
意図 (どのような状態 にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関等に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別計画	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付
年度別実績	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	3,202	3,040	3,440	0	0
	直接経費 A	2,047	1,869	2,281	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,047	1,869	2,281	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	1,155	1,171	1,159	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.16	0.16	0.16	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率	%	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	72.9	56.5	0	0
2	対象受講者数	人	目標	15	15	12	12	12
			実績	13	13	13	0	0
	(指標の説明) 補助金交付対象となる受講者の人数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保健医療福祉連携課 0857-20-3914</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P76(健003)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校した。 ・実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の新設への課題の一つである実習病院の不足解消につなげる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関(鳥取県知事が開設するものは除く)に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助する。 ・受講者1人につき30万円を上限とする。 ・鳥取市単独の補助事業。 <p>【事業の成果】</p> <p>平成28年度実績 補助金額 2,047,000円(補助対象者数 13人) 平成29年度実績 補助金額 1,869,000円(補助対象者数 13人) 平成30年度実績 補助金額 2,281,000円(補助対象者数 13人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率		104%	81%		
	2	対象受講者数	87%	87%	108%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	鳥取市医療看護専門学校看護学科の第2期生が卒業し、市内の医療機関への就職につながっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>看護師等養成所の臨地実習を行う医療機関等の看護職員実習指導者の確保を図り、臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業は継続する。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード*	002600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	校務支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成					
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	外部委託	
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	校務支援事業費	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-25-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校教職員
意図 (どのような状態にするために)	きめ細かな指導を可能とするため必要な情報を共有し、さらに、校務の負担を軽減することで、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。
手段 (どうするのか)	教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」を市内全小中学校に導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校8校で導入した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を協議検討し、決定した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を決定し、システムの運用を開始した。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,292	42,594	19,687	0	0	
	直接経費 A	1,073	35,275	12,444	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,073	35,275	12,444	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	校務支援システムの全校導入	校	目標	8
	(指標の説明) 校務支援システムの全校導入		実績	8	60	0	0	0
2	校務支援システムの運用		目標	0	0	59	59	57
			実績	0	0	59	0	0
	(指標の説明) 校務支援システムの運用							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P239(教013)</p> <p>【事業の概要】 国は学校現場における業務の適正化に向けて業務改善のためのタスクフォース報告(H28年6月)を示し、各自治体に対し教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、県内統一で整備した校務支援システムの全校展開による事務処理の統一化及び情報共有を進め、教職員等学校関係者が必要な情報を共有し、児童生徒へのきめ細かな指導を可能とする。</p> <p>【事業の成果】 グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する学校業務支援システムの導入が全県で決まり、平成30年4月から市内全小・中・義務教育学校で稼働中である。 (事業の実績) 平成28年度：1,073千円 平成29年度：35,275千円 平成30年度：12,444千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	校務支援システムの全校導入	100%	100%			
	2	校務支援システムの運用			100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%~150%未満：上回る」、「80%~100%以下：目標どおり」、「50%~80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムを市内全小・中・義務教育学校に導入した。 今後は機能改善を図りながら、引き続き運用を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食物アレルギー対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	学校給食食物アレルギー対策事業費			予算事業コード	01-09-05-03-06-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鶏卵と乳を食物アレルギーとする児童生徒（アナフィラキシー既往なし）
意図 (どのような状態にするために)	食物アレルギーを有する児童生徒が、他の生徒と同じように給食時間を安全に、楽しく過ごせる機会を増やし、食育としての学校給食の効果を高めるために実施。
手段 (どうするのか)	アレルギー原因（卵・乳）食材除去食・代替食の提供

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改定	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改定	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②学校生活管理指導表導入	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供
年度別実績	①除去食・代替食の提供 24人×3回/月	①除去食・代替食の提供 25人×3回/月 ②WG開催 マニュアルの見直し検討	①除去食・代替食の提供 42人×3回/月 ②学校生活管理指導表導入 検討委員会を開催し、学校生活管理指導表の導入を決定、平成31年度の申込受付から配布を開始			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	1,604	1,565	1,551	0	0
	直接経費 A	160	101	102	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	160	101	102	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	目標	100
			実績	100	100	100	0	0
	(指標の説明) アレルギー食材を使用した給食数のうち、対象児童に提供した除去食・代替食の割合							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校給食係 0857-30-8417</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応が必要な児童生徒の調査の実施、対応給食の提供 アレルギー対応に必要な調理業務の委託 アレルギーに対する理解を深めるため、研修会等の開催 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応給食の提供を行うため、調理業務の委託を実施 検討委員会を開催し、マニュアルを改訂、生活管理指導票の導入 <p>平成28年度 160千円 平成29年度 101千円 平成30年度 102千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応給食の実施上の諸課題について、整理・検討を図る アレルギーの児童生徒の増加に対応するため、施設・設備面の整備を図る
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	アレルギー対応給食の実施上の諸課題について、整理・検討を図る。				

事務事業評価シート

事務事業コード	032400	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・大規模)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(中学校・大規模)			予算事業コード	01-09-03-01-07-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小中義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	学校生活に支障が生じている施設の改修、予防保全に係る改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	空調設備設置工事(国府中、江山中、高草中)	①中ノ郷中空調設備実設計業務 ②屋根改修実設計業務 ③中ノ郷中屋内運動場屋根改修工事	①中ノ郷中・鹿野学園空調設備工事 ②青谷中学校・鹿野学園施設防水対策工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	117,745	0	0	
	直接経費 A	0	0	113,399	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	84,700	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	28,699	0	0		
人件費 B	0	0	4,346	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	改修等事業進捗	%	目標	100
			実績	100	100	100	0	0
	(指標の説明)							
2	[KPI]トイレ洋式化率(中学校)	%	目標	0	0	42.4	43.1	0
			実績	0	0	42.4	0	0
	(指標の説明) 洋式トイレ 305/和式トイレ 414(H30)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-84004</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P235(教006) 6月補正予算・P47(教004)</p> <p>【事業の概要】 経年劣化により機能性・安全性に支障が生じている施設の機能回復を図る。 夏季休業中に使用される中学校3年生教室と音楽室に空調設備を整備する。</p> <p>【事業の成果】 夏季休業中の猛暑対策として必要な施設整備が図れた。 (事業の実績) 平成29年度 空調設備設計業務ほか 36,342千円 平成30年度 中ノ郷中学校・鹿野学園空調設備設置工事 98,976千円 青谷中学校・鹿野学園防水対策工事等 14,423千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 安心・安全な教育環境の確保を図るため、改修・予防保全に係る計画的な事業の実施が必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	改修等事業進捗	100%	100%	100%		
	2	{KPI}トイレ洋式化率(中学校)			100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>適切な教育環境の確保にあたり、老朽化が進行している施設改修等は不可欠であると考える。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	032500	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小中学校空調設備整備事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標		事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合	85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	小中学校空調設備整備事業費		予算事業コード	01-09-01-03-43-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	令和元年度中に全ての普通教室に空調設備を設置
手段 (どうするのか)	早急な整備を図るため、設計施工一括方式による民間のノウハウを活用した整備を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			①空調設備整備に係る公募型プロポーザルを実施	①全普通教室に空調設備を設置	
年度別実績				①空調設備整備に係る公募型プロポーザルを実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	10,865	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	0	10,865	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	普通教室空調設備整備事業進捗	%	目標	0
			実績	0	0	100	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正予算・P46(教001) 11月臨時補正予算・P14(教001)</p> <p>【事業の概要】 小中義務教育学校の全普通教室に空調設備を設置する。</p> <p>【事業の成果】 国の臨時補正予算に呼応し、本事業に係る施工事業者が年度内に決定した。 (事業の実績) 平成30年度 鳥取市立学校空調設備整備事業整備工事(1工区、2工区、3工区) 公募型プロポーザルの実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 施工事業者と学校現場との連携・協力のもと、年度内での事業完了を目指す。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	普通教室空調設備整備事業進捗			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>児童・生徒の健康管理や学習環境の改善を図るため早期の整備完了を図る。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032600	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校増改築事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標		事業期間	平成29年度 ~ 令和3年度
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合	85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率	3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	中学校増改築事業費		予算事業コード	01-09-03-03-33-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校の武道場と校舎（管理・特別等）
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な施設環境と、生徒数増加に伴う教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	耐震性の無い武道場を改築し安全な施設環境と、既存校舎（管理・特別等）を改築し生徒増に伴う教育環境の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度 ①南中学校武道場実施設計業務	平成30年度 ①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築基本設計 ③南中学校校舎改築実施設計	平成31年度 ①南中学校校舎改築実施設計 ②南中学校校舎解体工事	令和2年度	
	年度別実績		①南中学校武道場実施設計業務	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築基本設計 ③南中学校校舎改築実施設計			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	2,928	157,811	0	0	
	直接経費 A	0	0	154,189	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	8,210	0	0
		地方債	0	0	129,300	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	16,679	0	0	
人件費 B	0	2,928	3,622	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.40	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		南中学校校舎等改築事業進捗	%	目標	0	100	100	100	0	
			実績	0	100	70	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>問合せ先) 学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P236(教007) 6月補正予算・P48(教005)</p> <p>【事業の概要】 耐震化に伴う武道場の整備に併せ、生徒数増加に対応した校舎の改築工事を実施する。</p> <p>【事業の成果】 武道場の解体により鳥取市の全学校施設の耐震化率が100%となった。 (事業の実績) 平成29年度 武道場改築実施設計業務 41,493千円 平成30年度 武道場改築事業 129,792千円 校舎増改築事業 24,397千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	南中学校校舎等改築事業進捗		100%	70%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	学校協議に不測の日数を要したため。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	設計協議に不測の日数を要し、年度内での業務完了が図れなかったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	安心・安全な施設環境を図るとともに、今後の生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	032700	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修事業(中学校・通常)		予算事業コード	01-09-03-01-07-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各中学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	
年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	28,347	42,553	29,236	0	0	
	直接経費 A	24,016	38,162	24,890	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	11,548	5,107	5,807	0	0
	一般財源	12,468	33,055	19,083	0	0	
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	トイレ洋式化修繕箇所	箇所	目標	0	0	1	0	0
			実績	0	0	1	0	0
(指標の説明)								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明) 洋式トイレ 696/和式トイレ 1,003(H30)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の目的及び効果】 各中学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の内容】 消耗品費 : 床ワックス、蛍光灯 ほか 修繕費 : 硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 原材料費 : 校庭の土 ほか 事業概要 備品購入費 : 消火器</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であると考え。		

事務事業評価シート

事務事業コード	032701	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(小学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修事業(小学校・通常)			予算事業コード	01-09-02-01-04-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	
年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	53,090	66,601	72,891	0	0	
	直接経費 A	48,759	62,201	68,545	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	22,877	10,867	10,409	0	0
	一般財源	25,882	51,343	58,136	0	0	
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	トイレ洋式化修繕箇所	箇所	目標	0	0	19	0	0
				実績	0	0	19	0
(指標の説明)								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-30-8404 【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の目的及び効果】 各小学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の内容】 消耗品費 : 床ワックス、蛍光灯 ほか 修繕費 : 硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 原材料費 : 校庭の土 ほか 備品購入費 : 消火器、消火栓ホース</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であるとする。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	032800	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小中学校施設長寿命化事業(仮称)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	まちづくりの目標		事業期間	平成30年度 ~ 令和3年度	
	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等		
1102	教育の充実・郷土愛の醸成					
施策の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度		
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	建設、整備
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	大規模改造事業費(中学校)		予算事業コード	01-09-03-03-34-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖東中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	老朽した校舎の耐久性を高め、建物の機能や性能を現在の教育環境に適した水準まで引き上げる。
手段 (どうするのか)	校舎の長寿命化改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務	
年度別計画							
				①長寿命化改良設計業務			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	12,737	0	0	
	直接経費 A	0	0	9,840	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	8,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,040	0	0	
人件費 B	0	0	2,897	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	長寿命化改良事業進捗率	%	目標	0	0	0.5	0.5	40
			実績	0	0	0.5	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正予算・P48(教006)</p> <p>【事業の概要】 構造体の耐久性の向上やライフラインの健全化、また、現代の社会的要請に応じた多様な学習内容等による教育環境を確保し施設の長寿命化を図る。</p> <p>【事業の成果】 長寿命化改良工事に係る設計業務の実施 (事業の実績) 平成30年度 湖東中学校長寿命化改良実施設計業務 9,840千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 長寿命化改良工事の実施箇所と今後の整備計画をたてコストの平準化を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	長寿命化改良事業進捗率			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	校舎改修に係る施工箇所が多く、施工方法の検討に不測の日数を要した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>学校施設の維持管理・大規模な改修等には多額の費用が必要となることが想定されることから、学校施設の現状と課題を把握し、総合的な観点からコストの縮減や予算の平準化を図り、事業を進めることが重要である。</p>	